

加などを受け、どの国保組合も財政悪化が深刻な事態となり、加入者の保険料負担が重くのしかかっています。

この間、国が負担する療養給付費負担金は、昭和59年に保険給付費ベースで40パーセントであったものが、平成18年度には34パーセントまで引き下げられ、各地の国保財政を圧迫しています。一方、国は本年2月、国民健康保険法施行令を改正し、保険税賦課限度額を56万円に引き上げました。信頼される国保制度、安心して医療を受けられる制度にするためにも、生活実態に即した保険税にすることが何よりも大切です。

国民健康保険法第1条に定める目的である「社会保障及び国民保健の向上に寄与する」ため、国の責任において、これ以上の国民健康保険加入者及び保険者の負担増を招くことなく、安定した国民健康保険制度の運営が可能となるよう国庫負担割合の引き上げを強く求めます。  
提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

**子ども医療費無料化を国の制度として創設することを求める意見書**

子どもが安心してお医者さんに受診できるようにしてほしいとの、医療費助成・無料化の願

いが、今では全国の自治体に広がっています。「乳幼児」から「義務教育終了までの子ども」へと大きく対象年齢を拡大する自治体も少なくありません。

子どもの医療費助成制度は、子育て中の人だけではなく、少子化対策や子育て支援策として、誰もが共感しております。

子ども医療費助成制度をすすめる上で政府の積極的役割が求められており、国の責任で子ども医療費無料制度を創設することを強く要望します。

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣

**後期高齢者医療制度実施についての意見書**

1 資格証明書を発行しないこと、保険給付差し止めの制裁を行わないこと。

2 保険料と医療費の一部負担金を軽減するための措置を講じること。

3 高齢者をはじめ住民の意思を反映できるようにすること。

4 高齢者が十分な医療が受けられるよう関係機関に働きかけること。

提出先 埼玉県後期高齢者医療広域連合

**請願の出し方**

〈記入例〉

表紙(1枚目)

〇〇〇〇〇〇〇〇に関する請願

紹介議員 〇〇〇〇〇〇 印  
〇〇〇〇〇〇 印

請願者  
住所 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇  
氏名 〇〇〇〇〇〇 印  
郵便番号・電話番号  
(団体名・代表者名印)

内容(2枚目)

- 1 件名 ……について
- 2 要旨 ……
- 3 理由 ……

地方自治法第124条の規定により上記のとおり請願書を提出します

年 月 日

吉川市議会議長 様

- ① 用紙はA4サイズを使用してください。
- ② 住所、氏名(法人及び団体はその事務所の所在地、名称、代表者の氏名)、電話番号、提出年月日を記載し、必ず押印してください。
- ※署名運動による請願については、住所、氏名を自署してください。
- ③ 記入例に従い、件名は端的に、要旨は簡潔に、理由は内容を詳しくご記入ください。
- ④ 表紙の紹介議員2名の署名、または記名押印が必要です。
- ⑤ 請願事項が複数の場合、1件につき1部を提出してください。
- ⑥ 道路、用水などは正式名称を記入してください。
- ⑦ 請願事項に関する地図や、参考資料などがあれば添付してください。
- ⑧ 「意見書の提出を求める請願」の場合は意見書案も添付してください。
- ⑨ 招集日の7日前までに提出されたものをその議会で審査し、それ以後のものは次の議会で審査することになります。なお、招集日については議会事務局までお問い合わせください。